

京都フォーラム第145号(秋号)の発行にあたって

NPO 法人京都地方自治総合研究所専務理事 高橋直樹

日頃は京都地方自治総合研究所の活動に対し、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、今回の京都フォーラム第145号(秋号)は、去る8月5日に自治労京都府本部主催・京都地方自治総合研究所共催にて開催致しました「2022 京都自治研集会『公共サービスが創る新しい絆 パンデミックを乗り越えて』」の特集号とさせて頂きました。折しも新型コロナウイルス感染症の第7波と言われる感染拡大の最中ではありましたが、皆様のご協力のもと、無事終了することが出来ました。

この京都自治研集会は、自治労の地方自治研究全国集会の開催年に合わせ、2年に一度の隔年で開催しています。今年の記念講演は、慶応義塾大学経済学部の井手英策教授にお越し頂き、「今、必要とされる公共サービスと国のかたち」と題してのご講演を頂きました。相変わらずの迫力溢れる講演で、「公共サービスが創る新しい絆」の方向性を、そして「自治研」についても持論を織り交ぜながら、そのあり方を示唆して頂きました。また分科会では、各単組によるレポート発表を行い、合計9本のレポートを静岡自治研へ応募させて頂くとともに、助言者である先生方の審査により「優秀賞」を決定し、受賞されたみなさんを静岡自治研へのご招待させて頂きました。今号は、井手英策教授の記念講演の講演録と合わせ、優秀賞を受賞されました3本のレポートを掲載致しました。是非ご一読ください。

最後に私事ですが、自治労京都府本部の役職を退任後、当研究所の専務理事に就任させて頂き、早一年が経ちました。この会報も3度目の発行となり、ようやく少しは慣れてきたところです。まだまだ不十分なところも多々あるかと思いますが、今後ともどうか宜しくお願い致します。



*集会当日は第2分科会の進行を務めさせて頂きました